

消防吏員用活動服（夏期用）仕様書

令和6年度

匝瑳市横芝光町消防組合

1 趣旨

この仕様書は、匝瑳市横芝光町消防組合における消防吏員用活動服（夏期用）（上下）について必要な事項を定めるものとする。

2 総則

- (1) 当活動服の製作に要する費用は、当初に契約した見積額のとおりとし、追加支出は一切認めない。
- (2) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (3) 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (4) 製品の納入に際しては、1着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿に基づき所属ごとにまとめて納品すること。
- (5) 証明書の提出については、入札者は入札時に使用生地についての紡績メーカーが発行した品質並びに原反出荷引受証明書を提出すること。
- (6) 納入業者は早急に試作品を提出し、担当職員の検査を受けること。この時、仕様書の内容を納入者の解釈にて勝手に変更してはならない。
- (7) この仕様書に疑義を生じたときは、担当職員の指示を受けなければならない。
- (8) 採寸については、サイズ表による試着ゲージを提出し、各人によりサイズを決定するものとする。（下衣股下の寸法は、各人の体型に合わせて仕上げること。）

3 数量

- (1) 消防吏員用活動服（夏期用）上衣 70着
- (2) 消防吏員用活動服（夏期用）下衣 70着

4 納入期限 令和6年12月27日

5 形式

(1) 上衣

台衿付きレギュラーカラー、前立て付き合わせファスナー、両胸アウトポケットファスナー付、左右胸ヨーク切り替え、肩章付き、カフス付きファス

ナー止め、右胸階級台マジック付き、左胸名札台マジック付き、背ヨーク切り替え、裾シャツ型、肩部・背ヨーク下部蓄光パイピング付き、右袖ワッペン台マジック付き、左袖ペン差し付き

(2) 下衣

ワンタック、両脇ポケット、両大腿部カーゴポケット（マチ部配色付き）、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、ベルトループ8本付、左右後片玉縁ポケット（左ボタン止め）、裾タブ止め付、ウエスト全周囲ストレッチ機能

6 主材料

(1) 夏期用使用表生地材料

ア 素材	東レ 難燃ストレッチツイル	S 2 4 1 8 T S	
イ 混紡率	メタ系アラミド	7 3 %	パラ系アラミド 5 %
	難燃ポリエステル	2 0 %	ポリウレタン 2 %
	導電性繊維混入		
ウ 色 相	C / # N T B (指定色)		

(2) 夏期用使用副生地材料

ア 素材	東レ 難燃ストレッチツイル	N X 4 8 4 8 R	
イ 混紡率	メタ系アラミド	9 4 %	パラ系アラミド 4 %
	ポリウレタン	2 %	
	導電性繊維混入		
ウ 色 相	C / # R O (指定色)		

【参考品】

- ・消防吏員用活動服（夏期用）上衣：(株)イマジョー製 T X 9 1 0 0 V R 2
- ・消防吏員用活動服（夏期用）下衣：(株)イマジョー製 T X 9 1 0 1 D R

7 縫製条件

(1) 針 数

3 c m間で地縫いは1 2 針以上、飾り縫いは1 2 針以上、オーバーロックは8 針以上とすること。

(2) 穴かがり

上衣は平穴、下衣は鳩目穴小かんぬき止めとすること。

(3) ボタン付け

機械付け又は手付けとする。また、手付けは2本の糸を1個の穴に3～4回通し根巻きは3回以上とすること。

(4) 裁 縫

糸調子は、上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にする
こと。また、縫い糸はテロン糸を使用し、糸始末は丁寧に行うこと。

(5) デザイン

立体構造のものとする。

(6) サイズ

体形に合わせてA体はスリムに、B体は若干のゆとりをもったサイズ構成
をとること。

8 縫製要領

(1) 上衣

ア 衿

- ・ 衿には芯を入れ、表衿端に12mm幅のトリミングを入れ周囲にステッチをかけること。
- ・ ステッチ糸は、表裏に同系色でかけること。
- ・ 台衿は、表裏を縫い合わせ、台衿で上衿を挟み地縫いし、表よりステッチで押さえること。

イ 前立て

- ・ 前立ては、見返しと縫い合わせる時、ファスナーを付けること。
- ・ 表面は、突合わせとしファスナーのムシを見せないように付け、見返し側も同様とすること。
- ・ ファスナー端の見返し、側よりダブルステッチを裾までかけ、下ファスナー止まり位置にかんぬき止めをすること。
- ・ 袖ぐり、脇切り替え部分にはダブルステッチをかけること。

ウ 胸ヨーク

- ・ 左右前身の胸の辺りで切り替え、上身頃側へステッチをかけること。

エ 肩章

- ・ 表裏を縫い合わせ先三角形型ボタン止め、肩先付け位置幅50mm、長さ150mmとし、周囲には6mmステッチをかけること。
- ・ 肩先側は、袖付け根に挟み、袖側より40mm入った位置で縫い止め、その間にクロスステッチをかけること。
- ・ 肩章先は、穴かがりのボタン止めとすること。
- ・ 表裏とも配色生地を使用し、ボタンは、オレンジ色を使用すること。

オ 胸ポケット

- ・ 左右の胸に口の長さ約140mmの両玉縁ファスナー付の切りポケットを付けること。

- ・口の周囲にステッチをかけ、口の両端は返し縫いをする事。
- ・胸ポケットファスナーは、閉じて脇側とする事。
- ・表地を袋布とし、身頃の裏側に当て、周囲は二つ折りし、ダブルステッチを表面まで出るように縫い止める事。
- ・右胸ポケットの中にスマートホン対応の内ポケットを付ける事。

カ 右胸階級台及び左胸名札台

- ・右胸切り替え位置より15mm上、ポケットの長さの中心やや脇側に25mm幅×長さ40mmのマジックテープ（メス）を取り付ける事。
- ・左胸切り替え位置より約15mm上、ポケット長さの中心に25mm幅×長さ40mmのマジックテープ（メス）を取り付ける事。

キ 背ヨーク

- ・1枚仕立てVヨークとし、配色生地を使用する事。
- ・後部背切り替え、前肩は、肩章付け辺り位置で切り替える事。
- ・前肩部・後部縫い合わせに蓄光反射パイピングを挟み込む事。
- ・切り替え線のヨーク側に6mm幅のステッチをかけ、袖側にも6mm幅のステッチをかける事。
- ・大きさは、中心で約21cm（サイズにより変動）とする事。

ク 脇身頃

- ・脇身頃は、裾から脇下まで、脇下から袖口までを続かし、脇下に重ね布式ベンチレーションホールを設ける事。
- ・ベンチレーションホールの上端は、三つ折り始末をし、コバステッチと6mm幅のダブルステッチをかける事。
- ・ベンチレーションホールの下端は、二つ折りでオーバーロック始末し、6mm幅ステッチをかける事。
- ・ベンチレーションホールは、袖下布を上脇下身頃と重ね、上下を離し脇線のみで縫い合わせる事。
- ・前後身頃側に6mm幅のステッチをかける事。

ケ 袖

- ・2枚袖のカフス幅60mm付きとする事。
- ・袖口に2本タックを取り、長さ約160mmのファスナーを設ける事。
- ・袖下縫いは、脇線から続けてインターロック始末、又は地縫いとオーバーロック始末とする事。
- ・カフス付け内側始末は、折り曲げ、カフス付け側にコバステッチと6mm幅のダブルステッチをかける事。
- ・袖開きは、玉縁ファスナー仕様とし、袖口カフス手前まで水かきを付け

- ること。
 - ・立体を持たせる為に袖付け根後部にダーツをとること。
 - ・右肩の縫い目から40mmの位置にワッペン用の85mm幅×長さ100mmのマジックテープ（メス）を取り付けること。
 - ・左肩にペン差しを取り付けること（詳細は別途指示）。
- コ 後身頃
- ・後身頃は、ヨークと縫い合わせヨーク側へ6mm幅のステッチをかけること。
- サ 裾
- ・シャツ型とし、三つ折り始末とし、5mm幅ステッチをかけること。
- シ 片布・品質表示
- ・左胸ポケット位置の身頃裏面に付けること。
- ス 衿吊り・サイズ表示
- ・衿吊りは衿ぐり後中心に挟み付け、サイズ表示は衿吊り横に挟み付けること。
- セ 背プリント
- ・背ヨーク部にプリントを施すこと。
- ソ 胸刺繍
- ・左胸台座の10mm上部に「匠瑳市横芝光町消防組合」と刺繍すること（色は別途指示）。

(2) 下衣

- ア 前タック
- ・左上前ファスナーあき、左右のウエストにワンタックをとり脇側（外向き）に片倒しをすること。
- イ 前立て
- ・左上前立てに芯を貼り、約35mm幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、かんぬき止めをすること。
 - ・見返し奥の裁ち目は、芯と共にオーバーロック始末をすること。
 - ・右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかけること。
 - ・持ち出し布は、表裏共に表地とし、見返し側の奥端はオーバーロック始末をすること。
- ウ 脇ポケット
- ・左右の両脇に斜め切り替えポケットを各1個付けること。
 - ・ポケット口の長さは160mmとし、口の上下端にかんぬき止めをする

こと。

- ・口にはコバステッチと6mm幅のダブルステッチをかけること。
- ・向う布の表地端は、袋布に縫い合わせること。
- ・袋の周囲は、袋縫いをすること。
- ・右ポケットの袋布に小袋を縫い付けること。

エ 後

- ・左右のウエストに各1本のダーツを取り、内側に片倒しをすること。
- ・後中心の尻縫いは割縫い、裁ち目はオーバーロック始末をすること。
- ・脇線と後中心の間（中心寄り）にベルト付け下より裾まで切り替え、脇側の方へ6mm幅ステッチをかけること。
- ・後身を切り替えた中心側身頃の太腿辺りを斜めに切り替え下身頃側へ6mm幅ステッチをかけること。
- ・ダーツ、後身・内腿切替え部は、臀部の突っ張り感を軽減させるために必要とすること。

オ 後ポケット

- ・左右後に口幅10mm、口の長さ145mmの片玉縁ポケットを各1個付けること（玉縁作りミシン可）。
- ・ポケット周囲はコバステッチをかけ、口の両端はかんぬき止めをすること。
- ・ポケット向こう布（表地）とし、袋布とはぎ合わせ、袋の周囲は、袋縫いをすること。
- ・左後ろポケットのみ穴かがりボタン止めとすること。

カ カーゴポケット

- ・両大腿部横に左右マチ付の上辺約200mm、長さ約220mmのアウトポケットを付けること。
- ・ポケット口は、ファスナー開き170mmの突合せとし、後閉じとすること。
- ・玉縁の上下端はコバステッチをかけること。
- ・後部のみ5cm幅のマチを設け、マチ部は、配色生地を使用すること。

キ 腰帯

- ・マーベルト付きとし、幅約40mmにストレッチ芯を貼り、ウエスト全周でストレッチ性を出すこと。
- ・前両端は、内側に折り曲げステッチで押さえること。
- ・ファスナー上の前中心に前カンを付けること。

ク ベルトループ

- ・ベルト通し幅60mm、長さ20mmのものを前タック位置、脇、後ダ

ーツ位置、後2カ所、合計8本付けること。

- ・ループ幅の両端はステッチをかけること。

ケ シック

- ・下前の持ち出し布下へ棒シック布を縫い代端に縫い止めること。

コ 裾

- ・指定の裾長さでミシンタタキ仕上げとすること。

サ 脇縫い

- ・後へ片倒しとし、6mm幅ステッチをかけ裁ち目はオーバーロック始末とすること。

シ 内股縫い

- ・縫い割し、裁ち目はオーバーロック始末とすること。

ス サイズ表示・品質表示

- ・片布下端に挟むこと。

セ 片布

- ・左脇ポケット袋布に縫着すること。

9 寸法表

活動服上衣サイズ表

部位 サイズ	着丈	肩幅	胸囲	胴囲	衿丈	ネック回り
AS	73	44	100	92	78	38
AM	75	46	105	97	81	39
AL	77	48	110	102	84	40
ALL	79	50	115	107	87	42
A3L	81	52	120	112	90	44
A4L	83	54	125	117	93	46
BS	73	48	110	107	78	42
BM	75	50	115	112	81	44
BL	77	52	120	117	84	46
BLL	79	54	125	122	87	48
B3L	81	56	130	127	90	50
B4L	81	58	140	137	91	52
B5L	81	60	150	147	92	54

活動服下衣サイズ表

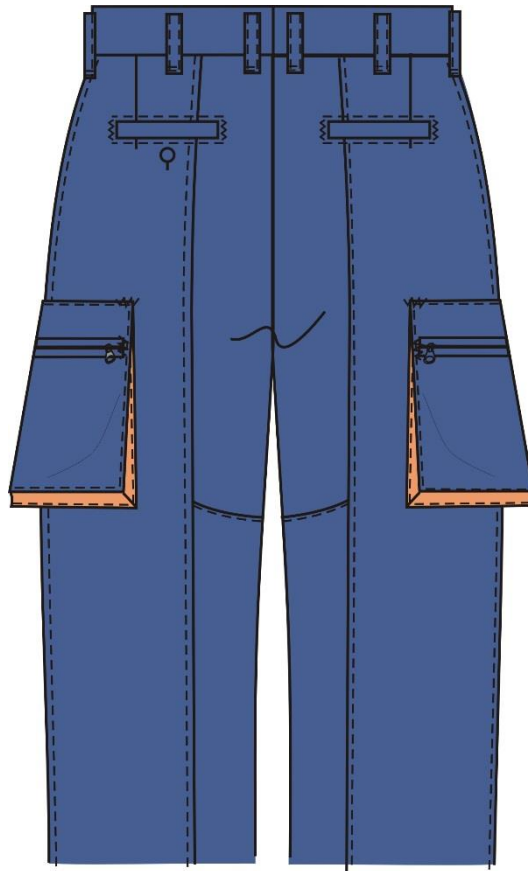
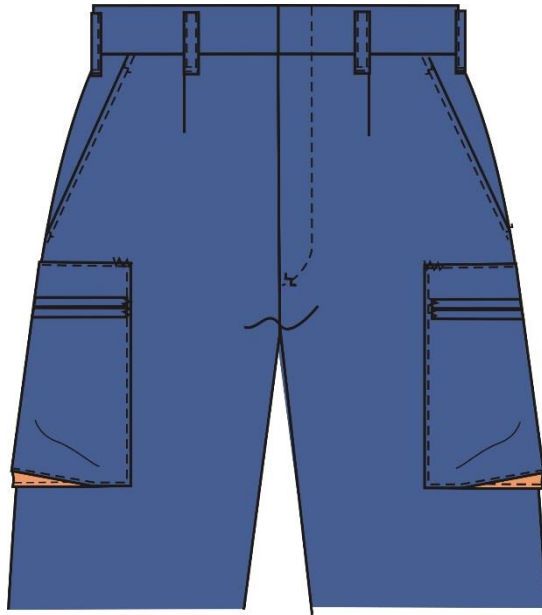
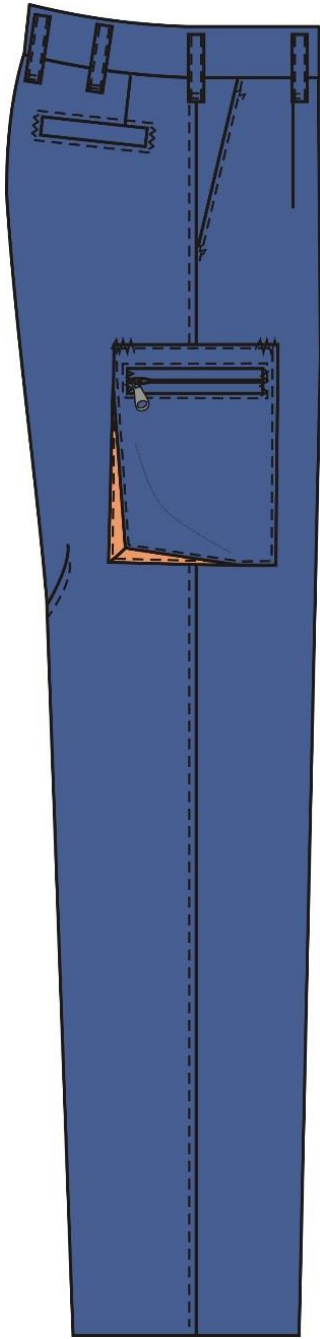
部位 サイズ	ウエスト	渡り幅	裾幅
A1	70	33.5	20.5
A2	73	33.5	20.5
A3	76	34.5	21
A4	79	34.5	21
A5	82	35	21.5
A6	85	35.5	21.5
A7	88	36.5	22
B00	82	36.5	23
B0	85	37	23
B1	88	38	23.5
B2	91	38	24
B3	95	38.5	24
B4	100	39	24
B5	105	40	25
B6	110	41	25

1 0 絵図面

上衣絵図面



下衣絵図面



1 1 背プリント

字体及び寸法については、担当職員の確認を受けること。

3 6 0 m m × 5 0 m m

国 産 市 横 芝 光 町 消 防 組 合

12 ワッペン台

